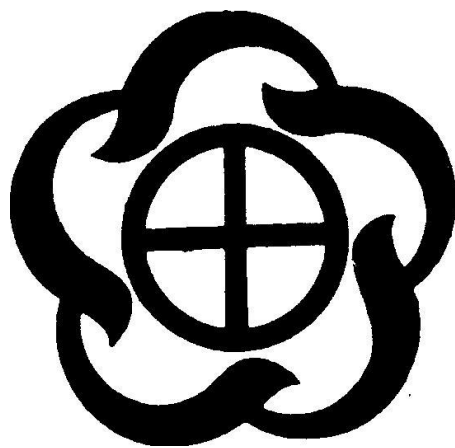


令和2年度

家庭学習の手引き



枚方市立津田小学校

枚方市津田西町 1-33-1

TEL 050-7102-9052

目次

○『家庭学習の手引き』の見方	1
○【家庭での生活を見直しましょう】	2
○【ルールを作り、点検をしましょう】	3
○【読書をする習慣をつけましょう】	4
○【学習準備】について	5
○【自分から進んで勉強する習慣をつけましょう】	6
○保護者の皆様へ	7
○子育てチェックシート	8

**ふしめふしめでご家庭で
チェックしてみてください。**

We Love 津田小



『家庭学習の手引き』の見方

本校では、学習活動全般にわたり基礎的・基本的な知識や技能の定着とそれを活用する力を身につけ、学力が向上することを目指して日々の学習に取り組んでいます。さらに自ら学習に取り組む力（自学自習力）を高め、意欲的に学習に取り組むことが大切であると考えています。

そのためには、ご家庭のご協力が必要不可欠であると考えており、ご家庭と学校が連携し、子ども達によりよい家庭学習の習慣が身につくことを目指して、この『家庭学習の手引き』を作成しております。ご家庭で家庭学習を進める上でのご参考にして頂ければ幸いです。

家庭学習の手引きの内容

1. 家庭での生活を見直してみましょう。
2. 学年のページ
児童のみなさんと保護者の皆様
3. 子育てチェックシート

We Love 津田小



児童のみなさんへ のページの見方

- ① 家庭学習の仕方
- ② こんなことに気をつけよう
- ③ こんな時には？

保護者の皆様へ のページの見方

- ① 特に繰り返しが必要な内容
- ② こんな宿題が出ています
- ③ 宿題の〇つけや間違い直しなどについて
- ④ お願い

- ① 自ら学ぼうとする子
- ② 深く考えたり、工夫できる子
- ③ 学習の計画がつけられる子
- ④ 家庭学習を続けられる子
- ⑤ 友だちと一緒に学ぼうとする子
- ⑥ 自分が好きで、あきらめない子
- ⑦ 学習を楽しんでいる子

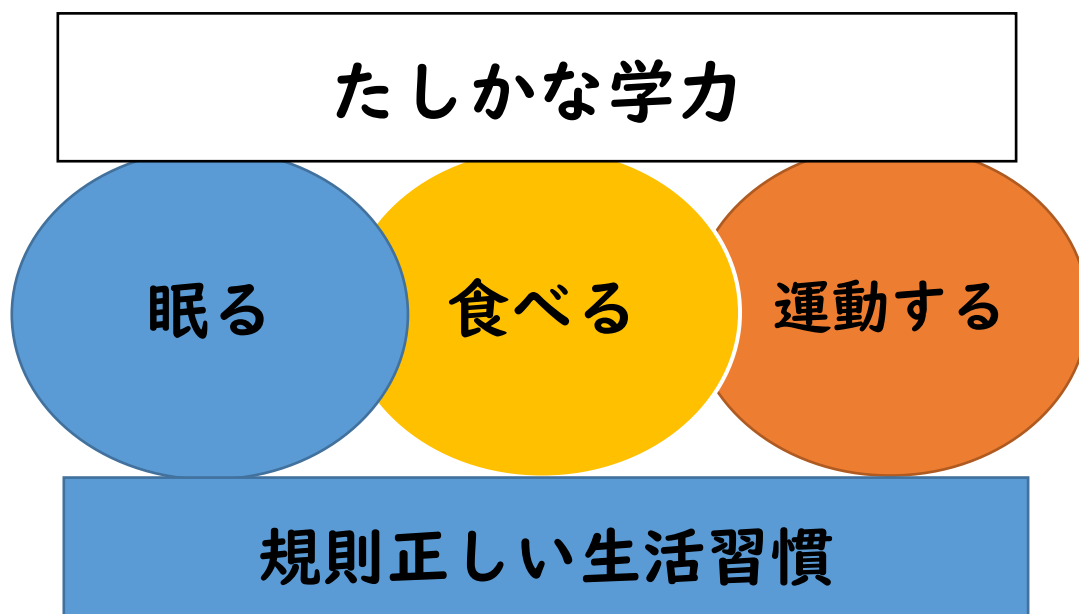
家庭学習を通して

身に付けたい力

教師と保護者は、
子どもの応援団

【家庭での生活を見直しましょう】

規則正しい生活習慣は、健康の源であり、学力を支える柱です。



眠る 睡眠には、記憶を整理し定着させる働きがあります。睡眠不足になると授業に集中することができません。子どもには少なくとも8時間の睡眠が必要とされています。寝る時刻や起きる時刻を家庭で決め、“早寝・早起き”の習慣をつけさせていきましょう。

食べる規則 正しい食生活を身につけるようにしましょう。特に朝食は、午前中の脳と体の大切なエネルギー源となります。空腹では、授業に集中することができなくなります。朝食をきちんと取る習慣をつけさせていきましょう。

運動する 体力を養うため、体を動かす習慣をつけさせましょう。テレビゲームやパソコン、スマホなどが、子どもの生活や遊びの中に定着し、外で体を動かす時間が減少しています。外遊びを勧めるようお願いします。

【ルールを作り、点検をしましょう】

家庭で話し合い、子どもと約束して下さい。

早期発見

子どもを取りまく環境

ネット依存・いじめ・非行

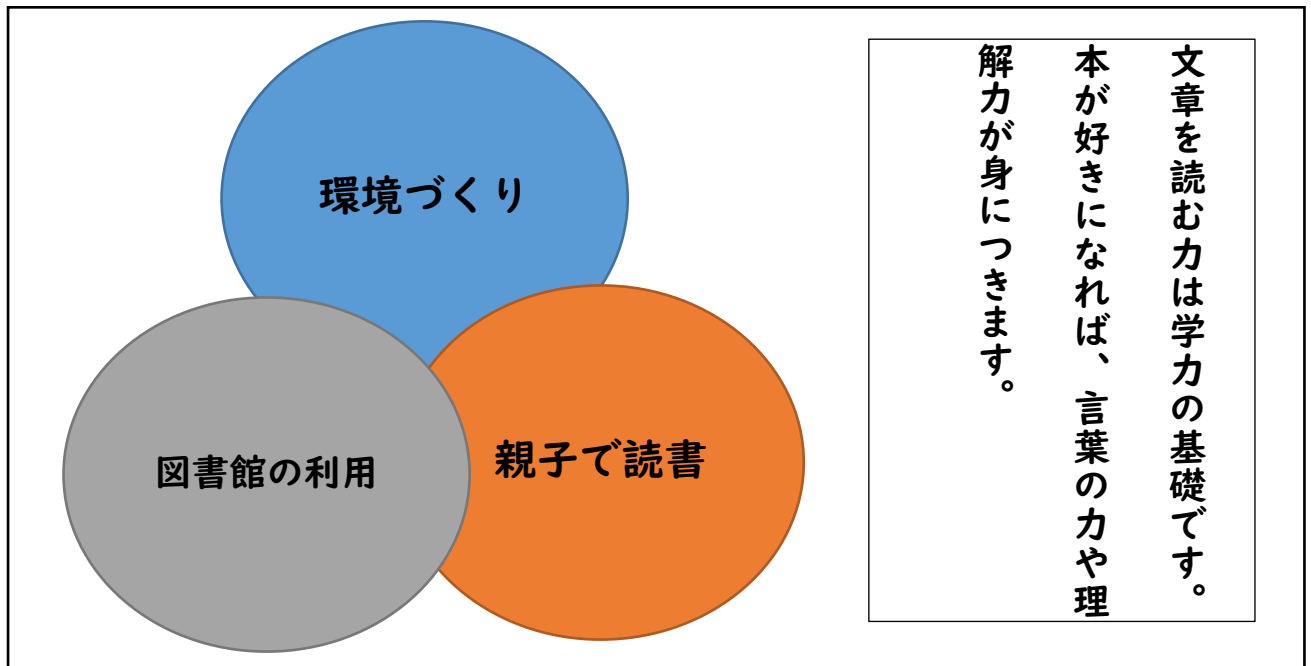
学校と家庭の連携

子どもが相談できる

温かい関係

- ① 携帯電話の使用、パソコンやスマホへの依存、ネットの有害サイトへのアクセスについて、保護者として管理をきちんとし、子どもを守りましょう。フィルタリングサービス(有害サイトへのアクセス制限)の利用もお勧めします。
- ② 子どもの交友関係を把握し、健全な友人関係が保たれていることを確認する事は、保護者として大切なことです。いつも遊んでいる友達や、その保護者の方とも交流することで、安心を得ることができると考えます。また、帰宅時刻や遊んでいる場所の把握にもつながります。
- ③ 持ち物の管理や把握をし、買い与えていない物が増えていないか見ていきましょう。いじめの早期発見や、万引きなどの防止のためにも、子どもの持ち物を見ていくことは大切です。物を大切にすることも同時に教えて下さい。

【読書をする習慣をつけましょう】



① 環境づくり

みんなが集まる部屋に、本や図鑑、辞書などを置きましょう。本を読みたくなる環境をつくり、大人が本や図鑑、辞書などを読んだり使ったりする姿を見せてあげてください。

② 図書館の利用

子どもを本好きにさせるには、子どもの周りにいつも本があり、読書を習慣づけることが大切です。本校の近くには枚方市立津田図書館があります。散歩の途中や買い物の帰りなどに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

③ 親子で読書

難しい本を読ませようとせず、気長に見守り、子どもが興味のある本を自由に読ませてあげましょう。親子で一緒に読書する時間を作ってみてはどうでしょうか。低学年では、読み聞かせをすることもお勧めします。

【学習準備】について

前日か、その日の朝、学校に持って行く物を、確かめましょう。

1. 時間割は自分でそろえさせてください。

自分で時間割を確かめながら準備をすれば、何を勉強するのも把握できます。心の準備にもなります。低学年は一人でできるようになるまで、手助けをしてください。

2. 筆箱の中身を確かめさせてください。

鉛筆（5～6本）・赤鉛筆は、必ず家で削って持たせてください。消しゴム、定規などの中身もご確認ください。また、キャラクター付きの文具は集中して学習に取り組めない原因にもなります。学習する子どもにあったものを持たせて下さい。

3. 宿題、提出物を確かめさせてください。

きめられた宿題や提出物を、きめられた日に提出するということを、低学年のうちから定着させてください。高学年でも、おうちの方がときどき確認をして下さい。

めやす

	低学年	中学年	高学年
学習時間	1年生：20分以上 2年生：20分以上	3年生：30分以上 4年生：40分以上	5年生：50分以上 6年生：60分以上
読書時間	学校では、火・木曜日の朝学習の時間(15分)を利用して読書タイムを実施しています。まずは15分をめやすに取り組んでみましょう。		
テレビ・ゲーム・インターネットなどを する時間の合計	60分以内	90分以内	90分以内
起床時刻・就寝時間	起床時刻・就寝時刻は学年の睡眠時間の目安をもとに決めてください。 1年～3年は、9～10時間の睡眠が必要とされています。 4年～6年は、8～10時間の睡眠が必要とされています。		

【自分から進んで勉強する習慣をつけましょう】

「宿題をきちんとすることができ、さらに自分の課題を見つけ、一人で学ぶことができる力」を身につけよう。

①学習環境づくり

1. 自分でできる目標と計画を立てさせましょう。

目標…一年間の目標や、今月の目標、今週の目標など、自分の立てた計画に沿って実行させ、達成する喜びを感じさせることが大切です。

計画…いつ、どこで、どのような内容か、実現性のあるものを具体的に考えさせましょう。

2. 自分の机の上や棚は、自分で整理させましょう。

②気持ちづくり

「勉強は楽しい」「できるってうれしい」という気持ちが、次の学習への意欲につながります。「勉強ができない」「自分の力では何もできない」といったレッテルを貼らず、子どもが本来持っている「知りたい」という気持ちを刺激しましょう。そして、できるだけ学年が進む前に、自分で学習する習慣を身につけられるように、見守っていきましょう。

家庭学習は学力の基本をみにつける大切な学習です。子どもたちの応援をよろしくお願いします！



保護者の皆様の声かけや励ましは、子どもをやる気にさせます。

【1年生】保護者の皆様へ

1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

ひらがな、カタカナ、漢字は、正しい書き順で繰り返し練習していきます。

(2) 算数

1年生で学習するたし算やひき算は、2年生からの計算の基礎となります。1年生の終わりには、暗算ですらすらできるようになることを目標に、計算カードや宿題プリントで、繰り返し練習していきます。

2. こんな宿題が出ています

(1) 音読

はっきり、丁寧に読む練習をします。

(2) 国語・算数プリント

国語：ひらがな、カタカナ、漢字、言葉のきまりを練習します。

算数：計算問題、文章問題、長さや大きい数など、今までに学習した内容の復習をします。

(3) 漢字ドリル（2学期から）

新出漢字を中心に、漢字ノートに練習します。

(4) その他（繰り返し練習することで定着していきます）

計算カード、計算プリント、鍵盤ハーモニカ、縄跳び など

3. 宿題の○つけや間違い直しなどについて

(1) 担任が○つけをして、間違い直しをさせ、もう一度点検をして返します。

子ども達と一緒に○つけをすることもあります。

(2) 特に間違いが多い問題については、国語、算数の授業で復習していきます。

★1年生の学習は、これからの学習の基礎になるものばかりです。

低学年で宿題を丁寧にしてきた習慣が、高学年で子ども達の学習に生きていきます。しっかりと行き届いた学習を毎日繰り返していけるような関わりをお願いします。

★親子で話し合った『宿題の約束』を守っていくようにすることが大切です。

ご家庭に合わせた「時間」と「場所」で学習させて下さい。

★『ながら勉強』をしない習慣をつけましょう。

テレビを消すこと、お菓子を食べながらしないこと など、学習に集中できる環境をつくるのが大切です。

★タブレットドリルを活用しましょう。

ICT機器を使用することで、興味を持って学習に取り組むことができます。

★見直しをして、ぜひ褒めてあげて下さい。

子ども達によって頑張り方も様々です。前日は間違っていたのに今日は一人でできた、自分から進んでできた、最後まで丁寧にやり遂げた など、一人ひとりに応じて、できたことを褒めてあげて下さい。保護者の方の励ましが、次の意欲につながります。

お願い



【2年生】保護者の皆様へ

1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

2年生の新出漢字は、1年生の2倍の160字あります。習った漢字をしっかり覚え、使えるようにするために、漢字ドリルをノートに写したり、漢字プリントで定着を図ったりすることが大切です。

(2) 算数

くり上がりのあるたし算や、くり下がりのあるひき算をスムーズにするためには、1ケタの暗算が大切です。また、2年生で九九を学習しますが、九九はいくつになっても必要な計算です。2学期には、ご家庭でもしっかりと覚えるまで一緒に聞いてあげてください。

2. こんな宿題が出ています

(1) 計算ドリル・算数プリント

内容は、今学習していることを中心に、習ったことの定着を図れるようにしています。

(2) 漢字練習（おもにドリル、スキル）

くり返し練習することにより、定着を図っています。

(3) 音読・九九（九九は2学期から）

声に出してスラスラ読めることが、国語の力の基本だと考えています。九九はこれからの算数の学習に不可欠です。

(4) その他（繰り返し練習することで定着していきます）

縄跳び、鍵盤ハーモニカ など

(1) プリントは○つけをし、間違い直しをして、その後担任が点検をして返します。

子ども達と一緒に○つけをすることもあります。

(2) 間違いが多い問題や漢字については、ご家庭でも再度見直していただき、理解を確かなものにできるようご協力おねがいします。

★家庭学習で少しでも良くなったところを褒めてあげてください。

★ご家庭に合わせた「時間」と「場所」で学習させてください。

★何かをしながら学習することのないように、学習ができる環境づくりにご協力ください。（例：テレビを消す 等）

★宿題をしたかどうか、やり忘れていないかどうかを見て下さい。

★プリント類は、ご家庭で必ず目を通して下さい。

★タブレットドリルを活用しましょう。ICT機器を使用することで、興味を持って学習することができます。

★家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。習慣づけていけるようにご協力をお願い致します。

お願い



【3年生】保護者の皆様へ

1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

新出漢字の数が多くなっています。ローマ字も出てきます。ノートやプリントで繰り返し学習していきます

(2) 算数

計算問題や文章問題に取り組みます。
計算領域では、たし算、ひき算、かけ算、わり算と四則計算をマスターします。2年生で学習した九九も定着するまで繰り返し学習していきます。

2. こんな宿題が出ています

(1) 国語

①漢字

3年生の漢字ドリルから出しています。2年生までに習った漢字も復習のために出しています。

②ローマ字プリント

②音読

内容理解の手段として、また文章のリズムを獲得するため、音読することを大切にしています。

(2) 算数

2年生で学習した内容、計算問題、文章問題、今学習していることなどのバランスを考えながら、また子ども達がつまずきやすい事柄を重点的に出しています。

(3) その他（繰り返し練習することで定着していきます）

縄跳び、リコーダー など

3. 宿題の○つけや間違い直しなどについて

宿題プリントの○つけをし、間違い直しをしています。プリントを持って帰りましたら、目を通して下さい。

★家庭学習で少しでも良くなったところを褒めてあげて下さい。

★「決まった場所」で「決まった時間」に学習させて下さい。

★何かをしながら学習することがないように、落ち着いた環境のもとで学習できるように、環境づくりもよろしくお願いします。集中すればミスも減り、丁寧な学習ができます。

★タブレットドリルを活用しましょう。ICT機器を使用することで、興味を持って学習することができます。

★家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。習慣づけていけるようにご協力をお願い致します。

お願い



【4年生】保護者の皆様へ

1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

4年生でも新出漢字の数が多いです。しっかりと覚えるために繰り返し学習していきます。

(2) 算数

小数や分数、角度や面積など、初めて学習する内容がたくさんあります。しっかりと定着させるためには、繰り返し練習問題を解いたり、生活と結びつけて考えさせたりしていくことも大切です。

2. こんな宿題が出ています

(1) 国語

- ・漢字や作文など、学習の定着をはかる内容を中心にしています。
- ・音読は「リズムよく読む」「句読点（点や丸）に気をつける」「ていねいに読む」などに気をつけて練習をさせています。できれば聞いて頂いて、サインとともに励ましの一言をお願いします。

(2) 算数

- ・計算ドリル・プリントなど、学習の定着をはかる内容を出していきます。

(3) 自主学習ノート

- ・自分で課題を見つけ自主的に学習する態度を養います。

3. 宿題の○つけや間違い直しなどについて

間違えたところを把握することが、苦手な内容の克服につながります。ご家庭でもプリントなどのチェックや声かけをお願いします。

★家庭学習で少しでも良くなったところを褒めてあげてください。

★「決まった場所」で「決まった時間」に学習させてください。

★何かをしながら学習することがないように、落ち着いた環境のもとで学習できるように、環境づくりもよろしくをお願いします。集中すればミスも減り、丁寧な学習ができます。

★タブレットドリルを活用しましょう。ICT機器を使用することで、興味を持って学習することができます。

★家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。習慣づけていけるようにご協力をお願い致します。

お願い



【5年生】保護者の皆様へ

1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

漢字や言葉のきまりのような言語事項などの学習が効果的です。

(2) 算数

基本的な $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div の計算などの学習が効果的です。

※基礎的・基本的な内容を繰り返し学習することで、確かな学力の定着を図ります。

毎日の宿題以外のことをする場合は、読書をしたり自主学習ノートを活用したりして下さい。

2. こんな宿題が出ています

(1) プリント・ドリル

算数の既に習った単元の復習、漢字や熟語など、子ども達の学習の様子を見て、苦手な内容を中心にしています。

(2) 音読

習っているところの音読を中心に、正確に読んだり、気持ちをこめて読んだり、すらすら読んだり、学校で学習したことを活かして読むようにしています。

(3) 自主学習

量や内容は問いませんが、自分で課題を見つけ、めあてを持って、毎日取り組むように指導しています。

(4) 5年生としては50分以上を目安に取り組んで頂ければと思います。

3. 宿題の○つけや間違い直しなどについて

間違えたところをしっかりと直すことが、苦手な内容の克服につながります。「前はまちがえたけど、今度はできた!」という自信につながるよう、ご家庭でも間違いなおしを丁寧にさせて頂きたいと考えています。

★家庭学習で少しでも良くなったところを褒めてあげて下さい。

★お子さんと相談して、「決まった場所」で「決まった時間」に学習させて下さい。

★何かをしながら学習することがないように、落ち着いた環境のもとで学習できるように、環境づくりもよろしくお願ひします。集中すればミスも減り、丁寧な学習ができます。

★タブレットドリルを活用しましょう。ICT機器を使用することで、興味を持って学習することができます。

★家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。習慣づけていけるようにご協力をお願い致します。

お願ひ



【6年生】保護者の皆様へ

1. 特に繰り返しが大切な学習

算数では、分数や小数の計算、
いろいろな公式、また国語で
は、漢字や熟語をしっかりと
覚えてほしいと思います。

2. こんな宿題が出ています

(1) 宿題の内容と量

宿題プリントと漢字の宿題は、基礎・基本の定着をねらいとしています。学習時間は30分程度を目安にしています。

(2) 自主学習の内容と量

自主学習の内容については個人によって違ってきますが、30分～40分はじっくりと取り組めます。目的を持つことが大切なので、ご家庭でも相談にのってあげてください。

★苦手なものを克服したい → 計算問題、文章問題、漢字、ローマ字などの問題

★興味のあることを深めていきたい → 図鑑、読み物、新聞などのまとめ

★学習したことを定着させたい → 教科書やノート、プリントのまとめや繰り返し練習

3. 宿題の○つけや間違い直しなどについて

間違えたところをしっかりと直すことが、苦手な内容の克服になります。「前はまちがえたけど、今度はできた！」という自信につながるよう、ご家庭でも間違いなおしを丁寧にさせて頂きたいと考えています。また、間違い直しをしていない時は、声かけをお願いします。

★家庭学習は最低でも1時間！

「決まった場所で」「決まった時間に」「手の届くところに辞書を置いて」学習させて下さい。

★家庭学習は集中！

ご家庭の協力のもと、テレビを消して、落ち着いた雰囲気の中で学習させて下さい。

★タブレットドリルを活用しましょう。ICT機器を使用することで、興味を持って学習することができます。

★家庭学習は自力学習（自学自習）への第一歩！

中学生に向けての準備期間です。自力学習の習慣をしっかりと身につけて、中学校に進学して下さい。

お願い



子育てチェックシート

- 子どもの起床時刻、就寝時刻を知っている。
- 子どもに朝食をとらせて登校させている。
- 子どもに適度な運動をするように話している。
- 子どもに家庭の仕事を分担して手伝わせている。
- テレビやゲーム等は時間を決めて利用させている。
- 携帯電話は子どもと相談して、適切な使用時間・使用場所を決めて利用させている。
- 子どもが約束やルールを守らなかった場合は、きちんと注意している。
- 子どもの良いところを見つけ、積極的にほめるように心がけている。
- 子どもと夢や将来の目標について話をしている。
- 最後まであきらめずに努力するよう声をかけている。
- 子どもだけではなく、親も「おはよう」や「いただきます」等の挨拶をするよう心がけている。
- 子どもの意思を尊重し、自分で考え、判断し、行動する機会を増やしている。
- 自然体験や社会体験に積極的に取り組ませている。

ふしめふしめでご家庭でチェックしてみてください。

We Love 津田小



津田小のネコ